



2023年11月10日

# 2024年3月期第2四半期 決算説明

株式会社アール・エス・シー  
(東証スタンダード 4664)



# アジェンダ

- 1 2024年3月期上期決算の概要
- 2 2024年3月期の業績見通しと株主還元
- 3 中期経営計画の概要と進捗

# アジェンダ

- 1** 2024年3月期上期決算の概要
- 2 2024年3月期の業績見通しと株主還元
- 3 中期経営計画の概要と進捗

# 2024年3月期上期 業績ハイライト

## ■ 上期業績は前年同期を上回る大幅な増収増益

- ☑ 売上高47.1%増、営業利益95.7%増
- ☑ 建設工事や設備部門などが好調に推移

## ■ 通期業績予想を上方修正

- ☑ 上期業績の上振れに伴う上方修正（10月26日発表）

## ■ 中間配当（1株当たり7円）を実施

- ☑ 中間配当は前期比2円増配の7円
- ☑ 年間配当は1株当たり17円を予定

## ■ 中長期的な取り組み

- ☑ 子会社化した友和商工のPMI（買収後の統合プロセス）は順調に進展
- ☑ 行動認識AI技術を提供するアジラとの業務提携契約の締結（8月16日）

# 連結 損益計算書

◎友和商工を含む設備工事部門の好調により大幅な増収増益を実現

## 損益計算書

単位：百万円

	23/3期 第2四半期		24/3期 第2四半期		前年 同期比		期初 予想比
		構成比		構成比		増減率	
売上高	2,865		4,214		+1,349	+47.1%	115.9%
売上原価	2,310	80.6%	3,413	81.0%	+1,103	+47.7%	-
売上総利益	554	19.4%	801	19.0%	+246	+44.4%	-
販売管理費	442	15.4%	581	13.8%	+139	+31.4%	-
営業利益	112	3.9%	219	5.2%	+107	+95.7%	135.3%
経常利益	116	4.1%	236	5.6%	+120	+103.2%	142.3%
当期利益	78	2.7%	158	3.7%	+79	+101.4%	148.7%

## セグメント別 売上高/売上総利益

単位：百万円

	23/3期 第2四半期	24/3期 第2四半期	増減
売上高	2,864	4,213	+1,349
建物総合サービス	2,326	3,714	+1,388
人材サービス	538	498	△39

	23/3期 第2四半期	24/3期 第2四半期	増減
売上総利益	554	801	+246
建物総合サービス	476	729	+251
人材サービス	77	72	△5

### <警備部門>

東宝日比谷プロムナードビルの警備業務開始、順調に推移  
RSC中部における港湾警備業務拡大

### <清掃部門>

新規顧客埼玉エリアの巡回清掃業務拡大  
大阪、名古屋エリアの巡回清掃業務拡大

### <設備・工事部門>

サンシャインシティにおける店舗改装に伴うシャッター更新工事実施  
大型家電量販店の昇降機設備等のリニューアル作業を多数実施  
学校給食センターの照明器具LED化工事などを多数受注  
友和商工におけるオフィスビルの入退去やレイアウト変更に伴う工事が増加

### <人材サービス部門>

アミューズメント施設の案内誘導業務、施設駐車場の管理業務の増加  
感染症ワクチン接種会場の案内業務の終了

# 連結 貸借対照表

## 貸借対照表

単位：百万円

	23/3期 (3月末現在)	24/3期 (9月末現在)	増 減	主な増減要因
現金・預金	1,689	1,774	+ 85	売掛債権の回収
受取手形及び売掛金	1,031	938	△93	
その他の資産	1,532	1,465	△67	のれん△15
資産合計	4,251	4,177	△75	
買掛金	445	285	△160	期末工事の外注費支払いによる減少
短期・長期借入金	553	527	△26	
その他の負債	1,355	1,330	△24	
負債合計	2,353	2,143	△210	
資本金	302	302	-	
資本剰余金	243	241	△2	
利益剰余金	1,253	1,385	+ 132	
自己株式	△22	△13	+ 9	譲渡制限付株式報酬の支払い
その他の純資産	118	118	0	
純資産合計	1,898	2,034	+ 136	
負債・純資産合計	4,251	4,176	△75	

※ 2023年3月期より友和商工の貸借対照表を連結

# アジェンダ

- 1 2024年3月期上期決算の概要
- 2 2024年3月期の業績見通しと株主還元
- 3 中期経営計画の概要と進捗

# 2024年3月期の連結業績予想

## ◎ 上期実績を踏まえ、通期業績予想を上方修正

単位：百万円

	23/3期 実績		24/3期 予想				修正幅	前期比 (修正後)	
		構成比	期初予想	構成比	業績修正後	構成比			増減率
売上高	6,028		7,318		7,873		+555	+1,845	+30.6%
営業利益	191	3.1%	218	2.9%	268	3.4%	+50	+77	+40.3%
経常利益	198	3.2%	228	3.1%	290	3.6%	+62	+92	+46.4%
当期純利益	128	2.1%	167	2.2%	177	2.2%	+10	+49	+38.2%
1株当たり年間配当額 (中間配当額)	15円 (5円)	-	15円 (5円)	-	17円 (7円)	-	+2 (+2円)	+2円 (+2円)	-

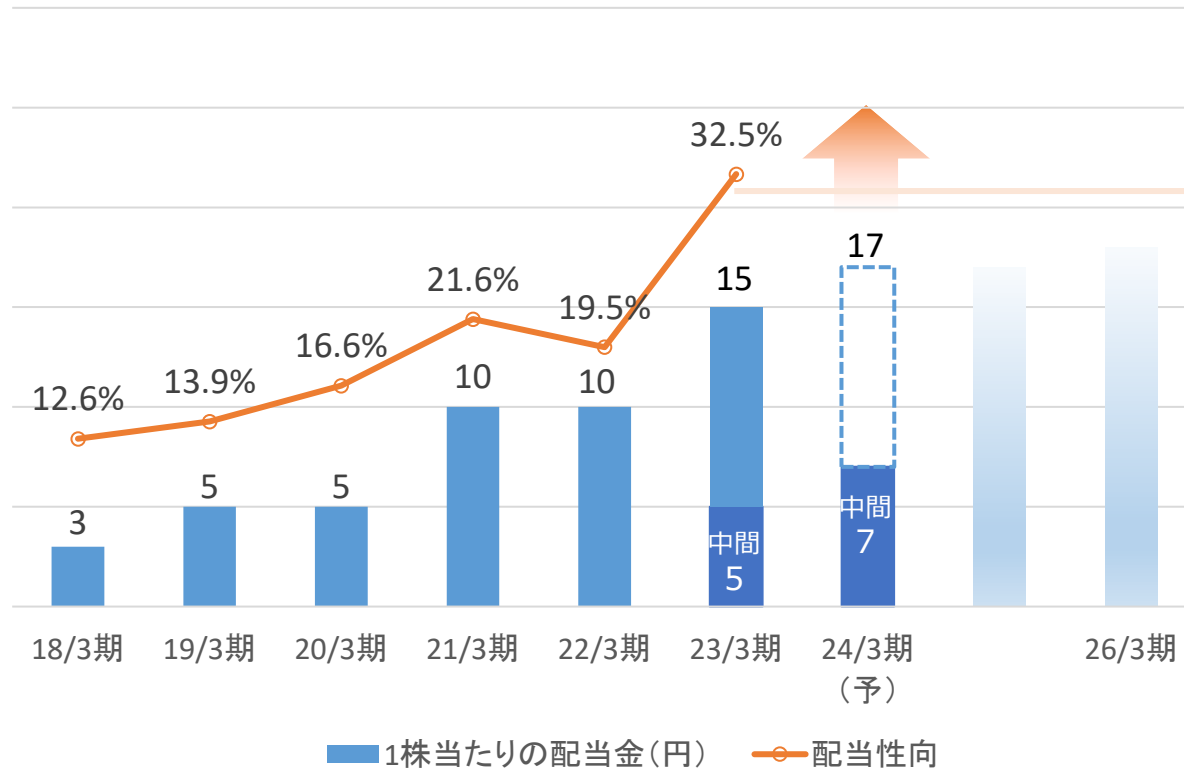
※連結業績予想の上方修正により、中間配当を2円増配



# 株主還元方針と配当予想

2024年3月期の中間配当は期初予想を2円増額修正し、1株当たり7円に決定済み。  
年間配当では前期比2円増配となる1株当たり17円を予定

## 【配当実績と今後の配当イメージ】



配当性向30%ライン

配当性向の目安を20%以上から  
**30%以上**に変更 (2024年3月期より)

# アジェンダ

- 1 2024年3月期上期決算の概要
- 2 2024年3月期の業績見通しと株主還元
- 3 **中期経営計画の概要と進捗**

# 中期経営ビジョン（2021年3月期～2026年3月期）

## 経営理念の実現

RSCグループは、信頼されるサービスを提供し、人が生活するあらゆる場面において、常に安全・安心・快適な環境を創造していきます。

### 環境変化への対応

人材不足、技術革新の進展  
業界再編の動き

### 当社らしさの継承

長期的な信頼関係を重視する姿勢  
従業員を大切にする社風

## 中期的に目指す姿

### 持続的成長に向けた基盤づくり

### 革新的なサービスへの挑戦

たゆまぬ「革新」を通じて、お客さま、従業員、株主さま、そして地域社会の皆さま、すべてのステークホルダーへ「信頼」を礎に、「安全」と「満足」を提供するプロフェッショナル集団

# 数値目標

売上高は24/3期において目標水準を上回る見込み。  
成長投資を継続しながらも、**着実な利益率の改善**に取り組む

【損益計画】	【実績】			【予想(修正後)】	【計画】	
	21/3期 (基準期)	22/3期 (1年目)	23/3期 (2年目)	24/3期 (3年目)	26/3期 (5年目)	増減 (21/3期比)
連結売上高	5,935	5,743	6,022	7,873	7,500	+1,565
売上総利益	1,070	1,093	1,113		1,500	+430
売上総利益率	18.0%	19.0%	18.5%		20.0%	+2.0 pp
営業利益	202	217	183	268	300	+98
営業利益率	3.4%	3.7%	3.0%	3.4%	4.0%	+0.6 pp
経常利益	218	244	190	290	310	+92
経常利益率	3.7%	4.2%	3.2%	3.6%	4.1%	+0.4 pp
当期純利益	147	164	126	177	217	+70
当期純利益率	2.5%	2.8%	2.1%	2.2%	2.9%	+0.4 pp



# 基本戦略について

※**赤太字**は競争力（収益性）に直結する特に重要な戦略テーマ

## 基本戦略①

### 収益力の向上

- ・**ワンストップソリューション提案**
- ・**エリア管理体制の構築**

**P13参照**

**P14参照**

## 基本戦略②

### 技術力の強化

- ・サービス品質の維持・向上
- ・**新技術の導入（業務DX化）**

**P15参照**

## 基本戦略③

### 職場環境の改善

- ・女性の活躍推進
- ・従業員エンゲージメントの向上

## 基本戦略④

### 経営基盤の強化

- ・持続的な成長の実現
- ・環境への配慮

持続的な利益成長の基盤づくり

# 基本戦略① ワンストップソリューションの提供

大規模複合施設であるサンシャインシティモデルを軸に  
総合的な提案力を活かしたワンストップソリューションを提供



顧客の利便性を高め、**差別化**を図るとともに、施設当たりの**収益性向上**を目指す。  
また、新技術の提案を促進する。

オフィステナントへの  
人材派遣



セキュリティロボット  
による巡回備警



警備保障



設備・工事



イベント運営・警備



受付  
(インフォメーション)



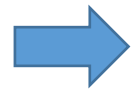
清掃





# 基本戦略① エリア管理体制の構築

個々施設への配置から、エリア単位での管理により省人化を推進



ワンストップソリューションを点から面へ展開

## 【エリア管理体制の状況】

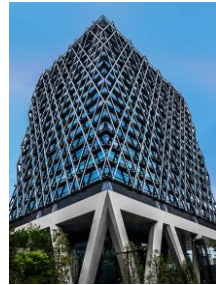
### 池袋エリア



サンシャインシティ



Hareza Tower  
(ハレザタワー)



ダイヤゲート

合計 29施設



### 丸ノ内・有楽町エリア



丸の内ビルディング  
(丸ビル)



東宝日比谷  
プロムナードビル



帝劇ビル

合計 12施設

当社の重点エリアである池袋、日本のビジネスの中心地である丸ノ内・有楽町地区を中心にエリア管理体制の拡充を図る。

特に池袋エリアにおいてはサンシャインシティとの連携を進めていく。

# 基本戦略② 新技術の導入（警備業務DX化）

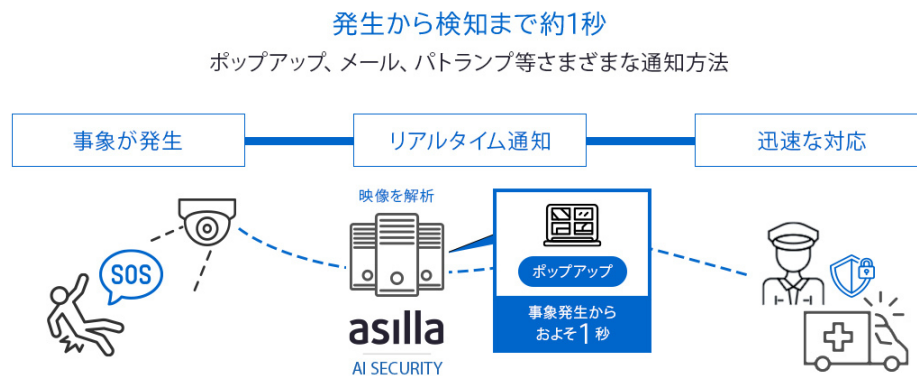
**New** 業務提携先のアジラと『サンシャインシティ』にてA I 警備システムを活用した施設警備の実証実験を開始

株式会社サンシャインシティが運営する大型複合施設サンシャインシティにおいて、11月9日よりA I 警備システム『AI Security asilla』を活用した施設警備の実証実験を開始した。

警備業務の質の向上による一層の安心・安全の実現の一環として、A I 警備システムを活用した防犯カメラでの警備員の省人化や警備員によるお客様対応時間の拡充、警備全体の品質向上を目指す。

## ■ AI Security asilla（アジラ）

### ① 実証実験の運用イメージ



※「アジラ」の名称は、日本国およびその他各国において株式会社アジラの登録商標です。



### ② 検知可能な行動一覧

迷惑行為の検知	見守り	人数検知
喧嘩・暴力行為 侵入 長時間たむろ	転倒・急病人 ふらつき 白杖・車椅子	混雑状況検知 人数カウント 1 2 3 4
違反感行動の検知	特許技術 予期しない危険行動を網羅的に補足→事件事故の予兆検知に!	



# 中期経営計画（基本戦略）の全体像と進捗

## 基本戦略① (収益力の向上)

エリア単位での巡回清掃管理を開始  
丸ノ内エリアにおいて  
警備を中心とする管理体制構築  
セコムとの連携  
(ロボットを活用したサービス開始)

**New**

エリア管理体制の構築に向けて  
東宝日比谷プロムナードビル  
(2月より業務開始)  
埼玉エリアにて巡回清掃業務の拡大

## 基本戦略② (技術力の強化)

資格保有者の採用・育成

AI画像解析の実証実験開始

**New**

アジラとの業務提携

## 基本戦略③ (職場環境の改善)

C・Sグループの新設

DX化の推進を開始

給与体系の見直し

## 基本戦略④ (経営基盤の強化)

社会課題の解決に向けた  
マテリアリティの特定

友和商工の連結化  
(内装工事の内製化、人材獲得)

**New**

友和商工へのPMIが順調に進展  
(業績への寄与)

**ホップ**  
(2022/3期  
～2023/3期)

これまでの進捗

**ステップ**  
(2024/3期  
～2026/3期)

## 2024年3月期 下期の取り組み

- 11月よりサンシャインシティで行動認識AIの実証実験開始
- 巡回清掃エリアの更なる拡大（東京・埼玉・大阪・名古屋）
- プロフェッショナル化推進のため技術職の待遇見直し
- 政策保有株の見直し

**ジャンプ**  
(2027/3期以降)

新たな成長ステージへ

# 免責事項

- 本資料の作成に当たり、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、作成しております。
- また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。